

FM-HI！交通安全キャンペーン 交通ルール・マナー遵守を呼びかけ

シティエフエム静岡(76.9 FM-HI！)

開局15周年を迎えたシティエフエム静岡(静岡市葵区紺屋町15-4、平塚高雄社長)では2月1日より4月30日までの3カ月間「FM-HI！交通安全キャンペーン」に取り組んでいる。

同キャンペーンは、毎年、新卒・新入学シーズンにFM-HI！が行っている交通マナー向上のための啓蒙活動

地域の話題や生活に役立つ情報をきめ細かく伝える、まちのラジオ局として、静岡市民に交通ルールや交通マナーの遵守を呼びかけているほか、静岡県くらし交通安全課監修による小冊子「交通安全わんクラブ」の配布も行っている。「ラジオを通じて大勢の人たちに、少しの注意と思いきやりを心がけることで



交通安全わんクラブ(静岡県くらし交通安全課監修)

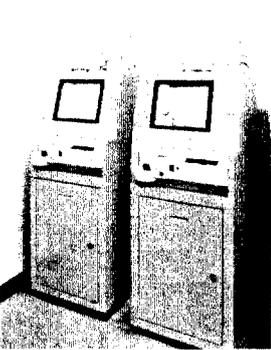
交通事故をなくしていけることを伝えたい」と同局では話している。問い合わせ、054-221-1111

世界初！カラオケセルフ精算 画期的なシステムを共同開発 スターランド

飲食店やアミューズメント施設向けのフロントPOSシステムを全国販売している株式会社スターランド(藤枝市青木3-14-1、樽井勉社長)は、セルフサービス式カラオケに対応した個別対応の自動精算システムを、ホテル等の自動精算機を販売している株式会社ウイング(本社大阪市西区)と共同開発した。

ケ機器のデータライズ業務を展開する、フジエンタープライズ株(本社東京都目黒区)で、昨年1月に都内品川区大井町に1号店を開店した。明成でリースするシステムが好評で、今年3月には2号店をオープンするなど、フジエンタープライズではPC展開にも本格的に取り組み始めたことから、スターランドは同社と連携しながら、多店舗化をサポートしていく。

セルフサービス式カラオケは、従来のカラオケ店のように窓口精算は行わず、店内に自動精算機を置いてゲループの利用客でも、人ひとりの自由に精算して帰ることができる。新業態のカラオケ施設で、こうしたシステムのカラオケ店は世界初という。



退店時にこの自動精算機で精算する

新業態店は、飲食をすべて持ち込み可としてフロントに軽食やドリンクの自販機を設置。料金も10分、15分、100円(時間帯により異なる)と低価格で分かりやすくした。スタッフ業務も少なく、特別なノウハウがなくとも十分に異業種から参入できるビジネスだけに、今後地方への普及も加速していくと見込んでいる。



「タイムズ・カラオケパーク ベスト10」

問い合わせ、054-645-0707